

令和6年度 首里城再興研究プロジェクト公募要領

1. 本プロジェクトの目的

琉球大学は令和2年に首里城再興学術ネットワークを立ち上げ、学長答申に基づき研究プロジェクトの推進及びシンポジウム等による情報発信等を行ってきた。

また、令和3年3月に沖縄県が公表した「首里城復興基本計画」では、首里城の復元はもとより首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の復興に取り組むという基本理念のもと、計画の着実な推進に向けて首里城再興学術ネットワークと連携することが示されている。

そこで、令和6年度の本研究プロジェクトでは、首里城の再興及び関連する沖縄の歴史・文化の再認識に資する研究を推進することを目的として、幅広く研究プロジェクトを募る。なお、学外との共同研究の応募を歓迎する。

2. 応募対象

今回は、首里城及び周辺文化財、首里のまちづくり等に関する幅広い分野での研究を対象にするが、特に「琉球の歴史・文化・芸能」、「離島」、「若年層を対象とした教育プログラムの開発」に加えて、「文化・言語」、「地域振興」、「観光」、「海外展開」等のキーワードに関連した研究の応募を期待する。

さらに、これらの研究成果や取り組みを広く普及するという観点から、上述の研究分野における成果の普及を目的とした報告会等の開催経費も応募対象とする。

(* 研究課題の例については別紙参照のこと。)

3. 研究期間

採択決定～令和7年3月31日までの1年間とする。

4. 申請資格者

本学の常勤教員とする。

また、本学が定める研究者倫理・研究費公正執行教育を受講していること。

※令和6年度は研究者倫理・研究費公正執行教育の一斉受講年度となります。

5. 申請要件

研究成果や成果報告会等の実施が首里城の復興及び関連する沖縄の歴史文化の再認識にどのように関連するのかを提示すること。

6. 申請方法

以下の書類（各1部）を必ず各部局等でとりまとめの上、指定ファイル（PDF又はExcel）で提出すること。

※研究者個人からの直接申請は受理しません。

※別紙様式は研究推進課HP（ニュース・トピックス欄）からダウンロード可能。

(URL: <https://gspd.skr.u-ryukyu.ac.jp/gakusaibu/kenkyu/>)

提出期限：令和6年5月7日（火）17:00（厳守）

提出書類：②は申請者ごとの提出。

- ① (Excel) 申請一覧
- ② (PDF) 申請書（別紙様式1）

提出先：総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係

メールアドレス : srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp

提出方法：提出先にメールにて提出すること

7. 配分規模

1件につき100万円を上限とする。（3～4件程度採択予定）

8. 審査基準と選考

次の点に着目し、研究推進機構長が指名する者で構成する審査委員会において、別途定める評価基準に基づき、書面審査により選考するが、場合によってはプレゼンテーション審査を行うこともある。選考結果について、研究推進会議及び役員会の議を経て、学長が採否及び配分額を決定する。

- (1) 応募対象としての適合性
- (2) 研究目的の達成、または研究成果・取り組みを広く普及するための計画性及び手法の妥当性
- (3) 経費の妥当性
- (4) 研究成果と本研究プロジェクトの目的（首里城の復興及び関連する沖縄の歴史文化の再認識）との関連性
- (5) 事業遂行能力（過去の外部資金獲得実績や研究業績等）
- (6) プロジェクト終了後の計画（どのように発展、活用するのか）

9. 採択結果の公表

採択されたプロジェクト名、研究代表者の氏名及び職名、配分額の一覧をホームページ等で公表する。

10. 研究成果における謝辞の表示

本経費により得た研究成果を発表する場合は、本経費の助成を受けたことを必ず表示すること。
Acknowledgement（謝辞）の記載例は、次のとおり。

【英文】:This work was supported by Shurijo Reconstruction and Renaissance Research Project Grant (No. . . .).

【和文】:本研究は首里城再興研究プロジェクト経費（No. . . .）の助成を受けたものです。

※No.については、別途通知する。

11. 成果報告

- ・プロジェクト終了後、1ヶ月以内に経費執行報告書（別紙様式2）、成果報告書（別紙様式3）を提出すること。
- ・首里城再興学術ネットワークによるシンポジウム等において、年度中又は年度終了後、研究発表を行っていただく場合がある。

※提出先は、総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係とする。

※成果報告書については、ホームページ等で公表する。

※成果報告書に記載した成果は、毎年度文科省に提出する中期計画年度報告にかかる「業務の実績に関する報告書」においても報告すること。

1 2. その他

「首里城再興学術ネットワーク」の活動に協力すること。

これまでの活動については、首里城再興学術ネットワーク HP を参照のこと。

https://res.skr.u-ryukyu.ac.jp/shurijo_project.html

1 3. 予算執行に関する注意事項

この経費は公的研究費です。適正に執行してください。不適切な執行の場合、採択を取り下げる可能性があります。

<申請書提出・問い合わせ先>
総合企画戦略部 研究推進課
研究推進係 宇榮原
TEL : 8016
e-mail : srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp

本プロジェクトが想定する研究課題の例

■ 首里城正殿の復元

- ・建築材料・技術・資源等に関する研究

■ 周辺文化財の復元

- ・歴史に関する研究
- ・建築材料・技術に関する研究

■ 文化財の防災や安全対策

- ・文化財の防災に関する研究

■ 保存科学

- ・火災で劣化した美術工芸品の修復・保存技術に関する研究
- ・人材育成プログラムの開発

■ 琉球の歴史と文化

- ・首里城に象徴される琉球の歴史・文化に関する研究
- ・琉球王府と地方の産業、文化、暮らし、宗教・祭り、言語等に関する研究

■ 戦争遺構

- ・32軍壕及び周辺の戦争遺構とその保存・活用に関する調査研究

■ 複層的な首里歴史まちづくり

- ・交通渋滞の緩和に関する研究
- ・首里と周辺地域の観光及び歴史・文化と一体となったまちづくりに関する研究

■ 教育プログラムの開発

- ・体系的な学習教育プログラムの開発
- ・平和学習プログラムの開発

■ デジタルミュージアム構想

- ・国内外に収蔵されている琉球の美術工芸品、公文書、記録等の調査研究
- ・上記のデジタルアーカイブ化に関する研究

■ 首里城復元や琉球文化への興味関心の喚起と維持

- ・琉球の歴史・文化を体感できる新技術（VR等）を活用したコンテンツの開発
- ・国内外に向けた波及効果の高い情報発信方法の開発